

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

社会・顧客が求める一步先の製品・技術・サービスを提供し、安定的・持続的に成長するスペシャリティ・ファインケミカル企業グループを目指す。

売上高
200億円

売上高
250億円

経常利益
13億円

経常利益
25億円

2 中長期の経営戦略

1. 電子材料分野の拡大

先端フォトリソスト用材料の受託拡大、i線フォトリソスト用感光性材料の増産、カラーフィルター・有機EL材料の受託拡大

2. イメージング材料の強化

フィルム用材料・記録材料の受託拡大、インスタントカラー用色材の増産、インクジェット用色素の安定供給

3. 医薬中間体の推進

既存製品の安定供給に加え、CMO（医薬品製造受託機関）のニーズ対応の受託製造に取り組む

4. 環境関連事業の強化

産業廃棄物処理分野での当社得意分野の受託活動推進、化学品リサイクル分野で医療・食品等他分野への営業活動

3 対処すべき課題

① 売上拡大と新製品開発

- ・売上高190億円達成、うち開発品30億円を目標
- ・新規受託品・自社製品の開発スピードアップ

② 生産性向上とコスト削減

- ・平均労働生産性比率1.2倍達成（2023年度比）
- ・全体最適化による徹底した効率化と原価低減

③ 人材と環境経営の推進

- ・3年間で約30名採用、教育費65百万円投資
- ・2030年までにGHG排出量15%削減（2019年度比）

面接で使えるポイント

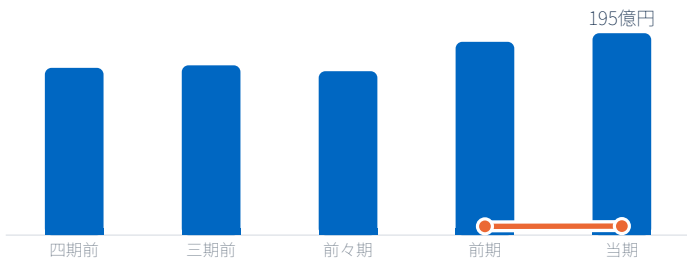
- ・スペシャリティ・ファインケミカルで、電子材料・医薬中間体など複数分野で受託拡大を目指している点
- ・2026年度売上高200億円、2030年度250億円目標に向けて、3年間で約30億円の設備投資でDX・AI活用を推進
- ・GHG排出量15%削減（2019年度比）など、SDGs達成とサステナブル社会実現に向けた経営理念の実践

ダイトケミックス株式会社

化学 | スタンダード（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連…

証券コード 4366

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
195億円

営業利益率
4.5%

財務健康度
46点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 52.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
760万円
化学内 74位/204社

平均年齢
40.7歳
化学内 154位/204社

平均勤続
14.9年
化学内 132位/204社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ダイトケミックス[4366]：公益財団法人財務会計基準機構

ダイトケミックス株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書
将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。
投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

